



最初にお読みください

# TenQ **AT-TQ2403** リリースノート

この度は、AT-TQ2403 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解  
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 1.1.2

### 2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 1.1.1 から 1.1.2 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

#### 2.1 VLAN ID 判定機能

 参照「ユーザーマニュアル」77、78 ページ

外部 RADIUS サーバーを使用した認証について、RADIUS サーバーからの認証応答として VLAN ID が含まれていない認証情報を受け取った場合に、その認証要求をした無線クライアントの通信の許可 / 禁止を設定できるようになりました。

認証を拒否したい場合は「Security」タブの設定項目に追加された「Require VLAN in Dynamic VLAN」にチェックを入れてください。

VWN を使用している場合は「Manage」-「VWN」タブの設定項目に追加された「Require VLAN in Dynamic VLAN」にチェックを入れてください。デフォルトはチェックなしです。

### 3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.1.1 から 1.1.2 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 ダイナミック VLAN 使用時に本製品のチャンネルを変更すると、無線クライアントが接続できなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 3.2 ダイナミック VLAN 使用時に無線クライアントが DHCP サーバーから IP アドレスを取得できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.3 本製品の有線インターフェースを経由した通信速度が極端に遅くなることがありましたが、これを修正しました。

## 4 本バージョンでの制限事項

---

ファームウェアバージョン 1.1.2 には、以下の制限事項があります。

### 4.1 本製品のご使用にあたって

 **参照**「ユーザーマニュアル」38 ページ

- 本製品の起動中は、ネットワークの使用をお控えください。
- 本製品の Web 設定には、必ず「Microsoft Internet Explorer 6.0」をご使用ください。

### 4.2 設定ファイルの保存について

 **参照**「ユーザーマニュアル」110 ページ

暗号化して保存した設定ファイルを読み込んで復元させた場合、設定が反映されません。設定ファイルを保存するときは、「Encrypt the configuration file」チェックボックスにチェックをつけないで保存してください。

### 4.3 syslog サーバーの指定について

 **参照**「ユーザーマニュアル」83 ページ

「Relay Host」入力欄には文字数の制限がありません。IP アドレスを正確に入力してください。

### 4.4 WDS について

 **参照**「ユーザーマニュアル」99 ページ

- 「Remote Address」で既存の MAC アドレス設定を上書きした場合は、設定終了後に必ず本製品を再起動してください。
- WDS の「Encryption」に「WPA (PSK)」を設定した場合は、無線クライアントに対して「WPA Enterprise」を設定しないでください。アクセスポイント間で接続できなくなります。

### 4.5 初期化について

 **参照**「ユーザーマニュアル」110 ページ

「To Restore Factory Default Configuration ...」から再起動を行った場合、鍵ペア生成のために数分（最長 10 分程度）かかることがあります。再起動が完了するまで、電源を抜かないでください。

### 4.6 アップデートについて

 **参照**「ユーザーマニュアル」112 ページ

- ルーター経由でファームウェア更新を行うと、動作状況を把握できなくなる場合がありますが、約 4 分後にはファームウェアが更新され正常に起動します。設定を続ける場合は、再度本製品の Web 設定画面に接続してください。
- 「New Firmware Image」で空ファイルを指定すると、エラーが表示されます。

### 4.7 SNMP について

 **参照**「ユーザーマニュアル」107 ページ

本製品を起動してから長時間（8 日間程度）経過すると、MIB-II の system.setUpTime の値が正しくなくなることがあります。

---

#### 4.8 VWN の設定について

 **参照**「ユーザーマニュアル」97 ページ

- 「VWN」タブで、各々の VWN を有効にし、いったん無効にしてから再度有効にすると、VWN の設定のうち、VLAN ID の設定だけが削除されます。SSID やセキュリティーなどの設定は残ります。
- 「VWN」タブで、「Mode」に「Static WEP」を選択すると、セキュリティーの認証方式で「Authentication」の選択ができなくなります。実際には Open system 認証が行われています。
- 有効な VWN の数が多くなると、MAC アドレスフィルタリングの設定が、すぐに反映されないことがあります。VWN と MAC アドレスフィルタリング機能を併用する場合は、MAC アドレスフィルタリングの設定後に本製品を再起動してください。

---

#### 4.9 内蔵 RADIUS サーバーのユーザー登録情報と Radius Key の設定

 **参照**「ユーザーマニュアル」58、73 ページ

- ユーザー登録情報「Real name」で何も入力しないと、ユーザー情報が編集できなくなります。その場合、一度そのユーザーを削除し、再度ユーザーを登録してください。
- ユーザー登録情報「Real name」に「&」や「<」が含まれていると、ユーザーを登録できません。
- セキュリティー設定「Radius Key」には、「-」とスペース以外の記号は使用できません。

---

#### 4.10 AP クラスター機能について

 **参照**「ユーザーマニュアル」61 ページ

AP クラスター有効時、「To Reset Factory Default Configuration」が機能しない場合があります。その場合、再度「Reset」ボタンを押してください。

---

#### 4.11 無線設定について

 **参照**「ユーザーマニュアル」93 ページ

Radio タブで「Radio」を「2」、「Status」を「Off」にして電源を入れ直すと、Web GUI 上でチャンネルが正しく表示されません。

---

#### 4.12 VWN と WDS について

 **参照**「ユーザーマニュアル」97、99 ページ

VWN と WDS は併用できません。

## 5 ユーザーマニュアルの補足

---

同梱の CD-ROM に収録されているユーザーマニュアル (613-000584 Rev.B) の補足事項です。

### 5.1 入力文字列について

 **「ユーザーマニュアル」 60, 91, 110 ページ**

本製品の Web マネージメント設定では、文字列の入力に半角英数字のみを使用できます。

- 名前に ASCII 以外の文字コードを含むユーザー情報は編集できません。
- 名前に ASCII 以外の文字コードを含む暗号化された設定ファイルを読み込むことはできません。
- ” (ダブルクォート) を含むネットワーク名 (SSID) は使用できません。

### 5.2 VWN について

 **「ユーザーマニュアル」 88, 97 ページ**

- VWN 機能を有効にすると、AP クラスター機能が動作しないことがあります。VWN と AP クラスター機能を併用する場合は、「Ethernet Settings」タブの、「Internal Interface Settings」の「VLAN ID」と「Management VLAN ID」に同じ値を設定してください。
- 有効な VWN の数が増えると、本製品の CPU の負荷が高くなりスループットが低下します。有効にする VWN の数は、5 個までにすることをお勧めします。

## 6 ダウングレードの注意事項

---

本バージョンのファームウェアで動作中の機器に対して、バージョン 1.1.1 以前のファームウェアにダウングレードを行うと、設定が工場出荷状態に戻ります。ファームウェアのダウングレードを行う場合は、設定をファイルとして保存しておいてください。

## 7 未サポート機能

---

以下の機能はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

### 7.1 日本語表示について

 **「ユーザーマニュアル」 50 ページ**

Web GUI の言語切り替えで、日本語を表示することができますが、これは未サポートです。